土砂災害の現状と課題を踏まえ、社会の変化等に的確に対応できる中長期的な展望に立った土砂災害対策のあり方について検討

現状と課題

- ◆土砂災害により毎年多くの人命が損失、 特に高齢者等の被害が顕著
- ◆地震や火山噴火等による大規模な土砂 災害の発生が懸念
- ◆施設整備が追いつかず、安全が確保 されていない危険箇所が多数
- ◆既存施設の老朽化、機能低下の懸念
- ◆土砂災害発生前の避難勧告発令事例 が少なく円滑な住民避難ができていない
- ◆長期的な視点に立った危険箇所の増加 抑制、災害に強い土地利用への転換が 必要
- ◆自然環境の保全や個性ある地域の形成 等への寄与が必要
- ◆広く国民に砂防事業への理解を広めると ともに、住民やNPO等との連携の一層の 推進が必要
- ◆地球温暖化に伴う気候変動により土砂 災害の増加、激甚化が懸念
- ◆世界的に土砂災害の甚大な被害が多発

- 1. 人命を守る重点的な土砂災害対策の推進
- 〇代替性のない避難場所や災害時要援護者関連施設等、避難が困難な人々を守る 施設整備の重点化
- 〇行政と住民の連携・協働による実効性ある警戒避難体制の構築
- 〇土砂災害特別警戒区域の指定促進等による安全な土地利用への転換の推進
- 〇大規模土砂災害の被害を最小化するための危機管理体制の強化、充実
- ○トータルコストを最小化する施設整備手法の構築・維持管理の推進
- ○気候変動への適応策として、土砂災害への長期的な影響の把握及び予測を行い 新たな対策技術の開発等を推進
 - 2. 国民の生活や経済活動の基盤を支える国土保全
- ○都市のみならず中山間地等においても、地域計画と整合をとりつつ土砂災害対策 を実施
- 〇大規模崩壊地や火山噴火等に対する着実な国土保全対策の推進
- ○重要交通網等、社会経済活動上重要な社会基盤の保全対策の推進
- ○災害の兆候の監視観測体制の強化等、国土の面的な管理の強化・充実
- ○流砂系の総合的な土砂管理に向けた、土砂の量と質の適切なコントロールの実施
 - 3. 土砂災害に強い地域づくり
- ○住民説明会を活用した国民の理解、協力の普及・拡大の推進
- 〇日常時の維持管理等の市町村や多様な主体との連携、参画の推進
- ○自然環境との調和、美しい景観の形成、地域文化の伝承等に寄与する事業の推進
 - 4. 事業評価等によるアカウンタビリティの向上
- ○事業の透明性、信頼性の確保や住民とのコミニュケーション等の充実
 - 5. 土砂災害に関する国際貢献への取り組みの推進
- ○国際会議や技術協力等を通じた国際的視野からの土砂災害対策の推進